

平成31年1月11日
相模原市発表資料

平成30年中における市内の火災及び救急の概要について

平成30年中における市内の火災及び救急の概要を取りまとめましたので、次のとおりお知らせします。

1 火災の概要について

当該期間に市内で142件(前年比2件減)の火災が発生し、死者は9人(1人減)で、負傷者は37人(13人増)です。

火災原因等の詳細は、別紙1のとおりです。

2 救急の概要について

救急出場件数は37,498件(前年比1,625件増)、搬送人員は33,157人(1,153人増)で、ともに過去最多となっています。

事故種別ごとの件数等の詳細は、別紙2のとおりです。

問い合わせ先

消防局 予防課(火災関係)

042-751-9117

救急課(救急関係)

042-751-9142

平成 30 年中における火災の概要（速報値）

平成 30 年中に市内で 142 件の火災が発生しました。

火災による死者は 9 人で、負傷者は 37 人です。

1 火災の発生状況

(1) 火災件数は、前年に比べ 2 件の減少

火災件数は 142 件で、前年に比べると 2 件減少しています。

火災種別ごとに見ると、前年に比べ、建物火災は 86 件で 9 件増、林野火災は 4 件で 2 件増、車両火災は 17 件で 3 件増、その他の火災は 35 件で 16 件減となっています。

(2) 出火原因の第 1 位は「たばこ」、続いて「放火（疑い含む）」、「電気機器」
全火災 142 件を出火原因別に見ると、「たばこ」が 22 件（15.5%）
で 1 位、続いて「放火（疑い含む）」20 件（14.1%）、「電気機器」
11 件（7.8%）、「こんろ」9 件（6.3%）、「火遊び」8 件
（5.6%）の順となっています。

(3) 火災による死者は 9 人、前年に比べ 1 人の減少

火災による死者は 9 人で、前年に比べると 1 人減少しています。

火災種別ごとに見ると、いずれも建物火災によるもので、そのうち 3 人が 65 歳以上の高齢者です。

負傷者は 37 人で、前年に比べると 13 人増加しています。

(4) 前年に比べ建物焼損棟数及び焼損面積は増加、損害額は減少

焼損棟数は 110 棟で、前年に比べると 4 棟増加、建物の焼損面積は 2,694 m²で、420 m²増加しています。

損害額は 2 億 4,571 万 5 千円で前年に比べると 1 億 5,495 万 8 千円減少しています。

2 火災概況（前年比）

項 目		平成 30 年	平成 29 年	増 減	
合 計 (件数)		142	144	2	
火災種別	建物	件 数	86	77	9
		面積(m ²)	2,694	2,274	420
	林野	件 数	4	2	2
		面積(a)	2	26	24
	車 両		17	14	3
	船 舶		0	0	0
	航 空 機		0	0	0
	その他	件 数	35	51	16
面積(m ²)		8,867	6,111	2,756	
原因別	失 火(構成比)		108 (76.0)	102 (70.8)	6
	放火(疑い含む)(構成比)		20 (14.1)	29 (20.1)	9
	不 明(構成比)		14 (9.9)	13 (9.0)	1
焼 損 棟 数		110	106	4	
り 災 世 帯		98	77	21	
り 災 人 員		199	170	29	
死 者		9	10	1	
負 傷 者		37	24	13	
損 害 額 (千円)		245,715	400,673	154,958	

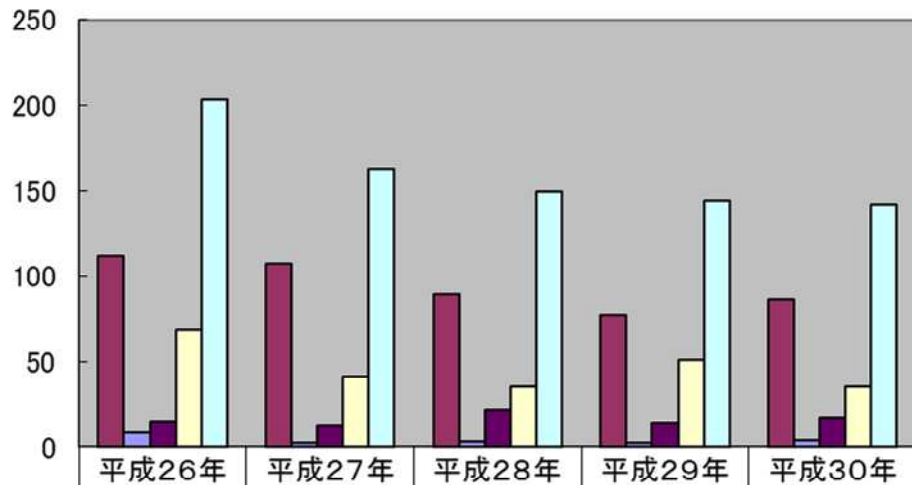
* 小数点第 2 位を四捨五入

3 出火原因（前年比）

平成 30 年 142 件			平成 29 年 144 件		
順位	出 火 原 因	件 数	順位	出 火 原 因	件 数
1	た ば こ	22 (15.5%)	1	放火(疑い含む)	29 (20.1%)
2	放火(疑い含む)	20 (14.1%)	2	た ば こ	23 (16.0%)
3	電 気 機 器	11 (7.8%)	3	こ ん ろ	12 (8.3%)
4	こ ん ろ	9 (6.3%)	4	た き 火	7 (4.9%)
5	火 遊 び	8 (5.6%)	5	配 線 器 具	6 (4.2%)
そ の 他		72 (50.7%)	そ の 他		67 (46.5%)

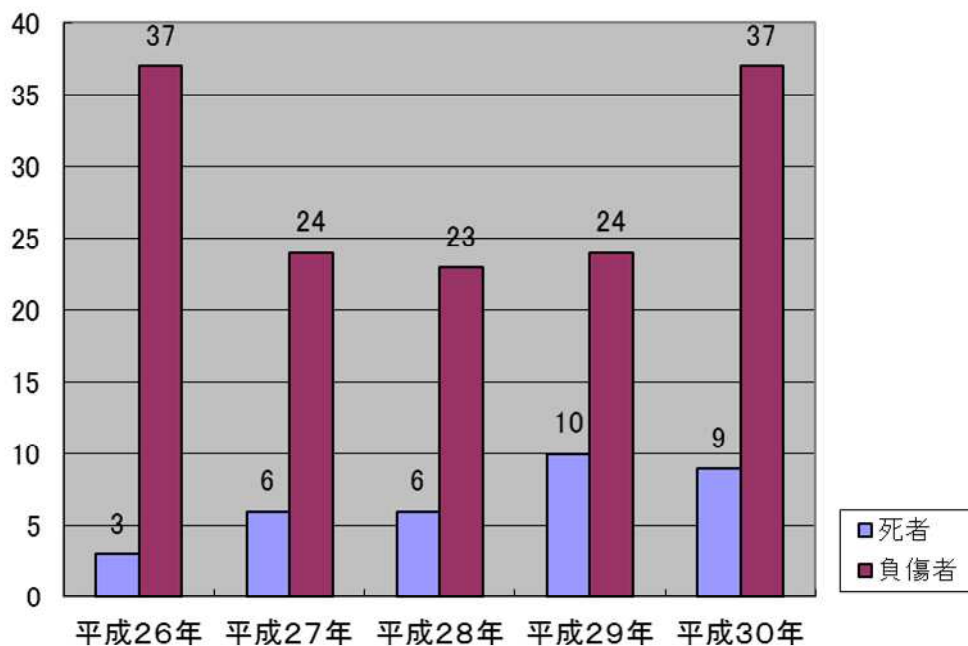
* 小数点第 2 位を四捨五入

(件) 過去5年 火災件数



■建物	112	107	89	77	86
■林野	8	2	3	2	4
■車両	15	13	22	14	17
□その他	68	41	35	51	35
□合計	203	163	149	144	142

(人) 過去5年 火災に伴う死傷者数



平成 30 年中における救急の概要(速報値)

救急出場件数は 37,498 件、搬送人員は 33,157 人で、
ともに**過去最多**を更新しました。

1 救急業務の実施状況

(1) 救急出場件数は前年に比べ 1,625 件増加

平成 30 年中の救急出場件数は 37,498 件、搬送人員は 33,157 人で、前年と比べ救急出場件数は 1,625 件、搬送人員は 1,153 人増加しています。

救急車は、1 日平均 103 件、14 分に 1 回の割合で出場しており、市民の 19 人に 1 人が医療機関等へ搬送されたこととなります。

(2) 救急出場の事故種別の第 1 位は「急病」、続いて「一般負傷」「転院搬送」

救急出場の事故種別順位としては、「急病」(23,908 件 63.8%) が最も多く、「一般負傷」(4,812 件 12.8%)、「転院搬送」(3,155 件 8.4%)、「交通事故」(2,754 件 7.3%)と続いています。

(3) 65 歳以上の高齢者の搬送人員は前年に比べ 865 人増加

65 歳以上の高齢者の搬送人員は、17,850 人(前年比 865 人増)で、53.8%を占め、過去最多となりました。

救急隊が同時に多数出場している場合、非常用の救急車を使用し、緊急的な対応をしております。

救急車や救急医療は限りある資源です。その資源を有効活用するために、日常のほんの少しの注意や心がけで防げる「予防救急」の取組みや病院に行ったほうがいいのか、救急車を呼んだ方がいいのか迷ったときは「全国版救急受診アプリ(愛称「Q助」)」を活用していただきますよう、御協力をお願いします。

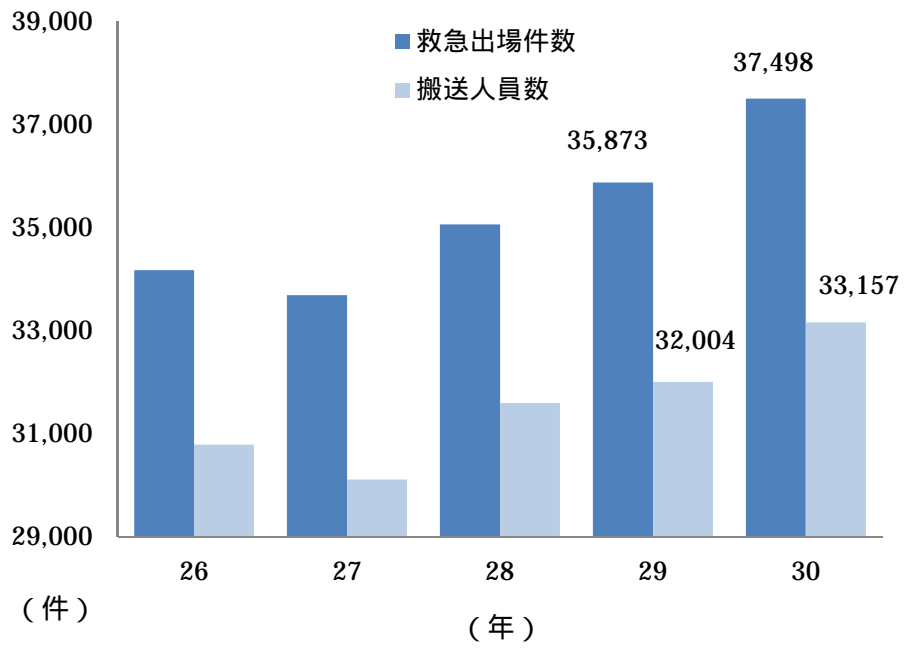
2 救急概要

事故種別 区分		平成30年	平成29年	増減 (C) (A-B)	増減率(%) (C/B×100)	
		(A)	(B)			
救急出場件数		37,498	35,873	1,625	4.5%	
傷病者搬送件数		32,930	31,786	1,144	3.6%	
不搬送件数		4,568	4,087	481	11.8%	
事故種別内訳	火災	114 (0.3%)	118 (0.3%)	4	3.4%	
	自然災害	2 (0.0%)	2 (0.0%)	0	0.0%	
	水難	9 (0.0%)	6 (0.0%)	3	50.0%	
	交通	2,754 (7.3%)	2,877 (8.0%)	123	4.3%	
	労働災害	309 (0.8%)	268 (0.7%)	41	15.3%	
	運動競技	280 (0.7%)	268 (0.7%)	12	4.5%	
	一般負傷	4,812 (12.8%)	4,830 (13.5%)	18	0.4%	
	加害	167 (0.4%)	195 (0.5%)	28	14.4%	
	自損行為	298 (0.8%)	291 (0.8%)	7	2.4%	
	急病	23,908 (63.8%)	22,289 (62.1%)	1,619	7.3%	
	その他	転院搬送	3,155 (8.4%)	3,130 (8.7%)	25	0.8%
		医師搬送	41 (0.1%)	7 (0.0%)	34	485.7%
		資材搬送	5 (0.0%)	8 (0.0%)	3	37.5%
その他		1,644 (4.4%)	1,584 (4.4%)	60	3.8%	
搬送人員		33,157	32,004	1,153	3.6%	
性別	男性	17,493	16,833	660	3.9%	
	女性	15,664	15,171	493	3.2%	
程度別	死亡	244 (0.7%)	417 (1.3%)	173	41.5%	
	重症	2,580 (7.8%)	2,366 (7.4%)	214	9.0%	
	中等症	13,256 (40.0%)	12,574 (39.3%)	682	5.4%	
	軽症	17,077 (51.5%)	16,645 (52.0%)	432	2.6%	
	その他	0 (0.0%)	2 (0.0%)	2	100.0%	
活動	ドクターカー使用	117	96	21	21.9%	
	ドクターカー使用	9	12	3	25.0%	

* 小数点第2位を四捨五入

* 程度別の括弧内は搬送人員に対する割合

過去5年間の救急出場件数及び搬送人員の推移【図】



3 救急隊別活動状況

隊別		平成30年		平成29年		対前年比	
		出場件数	構成比	出場件数	構成比	比較増減	増減率
相模原署	本署	3,735	10.0%	3,736	10.4%	1	0.0%
	田名	1,806	4.8%	1,680	4.7%	126	7.5%
	淵野辺	3,215	8.6%	3,028	8.4%	187	6.2%
	緑が丘	2,829	7.5%	2,713	7.6%	116	4.3%
	上溝	2,262	6.0%	2,099	5.9%	163	7.8%
南署	本署	3,449	9.2%	3,370	9.4%	79	2.3%
	新磯	1,288	3.4%	1,239	3.5%	49	4.0%
	大沼	2,911	7.8%	2,788	7.8%	123	4.4%
	相武台	2,564	6.8%	2,400	6.7%	164	6.8%
	上鶴間	2,612	7.0%	2,571	7.2%	41	1.6%
北署	本署	2,697	7.2%	2,631	7.3%	66	2.5%
	大沢	1,669	4.5%	1,493	4.2%	176	11.8%
	相原	1,984	5.3%	1,925	5.4%	59	3.1%
	城山	1,782	4.8%	1,648	4.6%	134	8.1%
津久井署	本署	900	2.4%	918	2.6%	18	2.0%
	派出所	1,058	2.8%	1,029	2.9%	29	2.8%
	藤野	612	1.6%	605	1.7%	7	1.2%
	青根	125	0.3%				
計		37,498	100.0%	35,873	100.0%	1,625	4.5%
1隊あたりの 件数		2,083		2,110		27	1.3%

* 小数点第2位を四捨五入

* 平成30年4月1日、青根分署で救急隊の運用を開始

4 事故種別搬送人員状況

事故種別 順位		平成30年		平成29年		対前年比	
		搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
1	急病	21,678	65.4%	20,466	63.9%	1,212	5.9%
2	一般負傷	4,435	13.4%	4,422	13.8%	13	0.3%
3	転院搬送	3,155	9.5%	3,131	9.8%	24	0.8%
4	交通	2,682	8.1%	2,807	8.8%	125	4.5%
5	労働災害	306	0.9%	266	0.8%	40	15.0%
6	運動競技	279	0.8%	263	0.8%	16	6.1%
7	その他	238	0.7%	265	0.8%	27	10.2%
8	自損行為	206	0.6%	199	0.6%	7	3.5%
9	加害	135	0.4%	154	0.5%	19	12.3%
10	火災	37	0.1%	26	0.1%	11	42.3%
11	水難	5	0.0%	1	0.0%	4	400.0%
12	自然災害	1	0.0%	4	0.0%	3	75.0%
計		33,157	100%	32,004	100%	1,153	3.6%

* 小数点第2位を四捨五入

5 年齢別搬送人員

年齢区分	平成30年		平成29年		対前年比	
	搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
新生児	139	0.4%	130	0.4%	9	6.9%
乳幼児	1,845	5.6%	1,924	6.0%	79	4.1%
少年	1,358	4.1%	1,375	4.3%	17	1.2%
成人	11,965	36.1%	11,590	36.2%	375	3.2%
高齢者	17,850	53.8%	16,985	53.1%	865	5.1%
合計	33,157	100.0%	32,004	100.0%	1,153	3.6%

* 小数点第2位を四捨五入